

EDI-Master DEX Business Server Ver.4.01-02 リリースメモ

Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本および、その他の国における登録商標または商標です。

目次

[Ver.4.01-02 での変更内容].....	1
---------------------------	---

[Ver.4.01-02 での変更内容]

No	概要	VerUp 区分	変更区分
1	接続先毎に、TLS/SSL のセキュリティレベルを設定する機能を追加	機能追加	通信部
2	Windows 標準機能のコンポーネントによりセキュリティ機能を実装するように変更	仕様変更	全体
3	サーバ環境対応 OS に以下を追加 <ul style="list-style-type: none"> Windows Server 2016 Standard、Essentials 	仕様変更	全体
4	クライアント環境対応 OS に以下を追加 <ul style="list-style-type: none"> Windows 10 Enterprise、Pro 	仕様変更	全体
5	クライアント環境対応 OS から以下を削除 <ul style="list-style-type: none"> Windows Vista Ultimate、Business Windows 8 Enterprise、Pro 	仕様変更	全体
6	対応ブラウザから以下を削除 <ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer 7、8 	仕様変更	全体
7	EDI-Master シリーズへの製品統合にともない、製品名を「DEX Business Server」から「EDI-Master DEX Business Server」に変更	仕様変更	全体
8	「ファイル一覧」画面で、ファイルの追加時にアクセスエラー (0x80070020) になり、エラー画面が表示される場合がある不具合を修正	修正	Web
9	MDN に電子署名を添付する時に、通信定義から証明書情報が取得できない場合がある不具合を修正	修正	通信部
10	コマンドラインユーティリティの SERVER コマンドで、登録されていないサーバ名を指定して実行しても正常に終了してしまう不具合を修正	修正	API
11	ファイル一括抽出処理で、不正データ以降のファイルが抽出されない不具合を修正	修正	API

No	概要	VerUp 区分	変更区分
12	メール伝送で、伝送相手から署名アルゴリズムに SHA2 を指定されると伝送エラーになる不具合を修正	修正	通信部
13	同ドキュメントが二重抽出される場合がある不具合を修正	修正	API
14	受信フォルダに存在する複数件のステータス「処理済み（正常）」以外のファイルが一括で抽出できない不具合を修正	修正	API
15	全銀 HTTP と AS2 で利用可能なサーバ定義（HTTP）をエクスポートすると、「プロトコル種別」欄が空欄となる不具合を修正	修正	API
16	サーバ環境前提ハードウェア要件を下記の通り変更 メモリ：4GB 以上 ハードディスク：100MB 以上	仕様変更	全体
17	クライアント環境前提ハードウェア要件を下記の通り変更 メモリ：1GB 以上 ハードディスク：100MB 以上	仕様変更	全体

No.8		【ファイル一覧】画面で、ファイルの追加時にアクセスエラー（0x80070020）になり、エラー画面が表示される場合がある不具合を修正
条件	発生	【ファイル一覧】画面で、ファイルを登録する。
内容	障害	アクセスエラー（0x80070020）になり、ファイルが登録されない場合がある。
回避策	未実施時のアップデート	特になし。

No.9		MDN に電子署名を添付する時に、通信定義から証明書情報が取得できない場合がある不具合を修正
発生条件		以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> ・ MDN に電子署名を添付する設定をする ・ ICSR または ICSR ACK を受信する
内容	障害	受信ファイルのステータスが、応答処理済み（異常）になる。
回避策	未実施時のアップデート	電子署名を添付しない設定に変更する。

No.10		コマンドラインユーティリティの SERVER コマンドで、登録されていないサーバ名を指定して実行しても正常に終了してしまう不具合を修正
条件	発生	コマンドラインユーティリティの SERVER コマンド実行時に、登録されていないサーバ名を指定する。
内容	障害	正常終了する。
回避策	未実施時のアップデート	登録されていないサーバ名を指定しない。

No.11		ファイル一括抽出処理で、不正データ以降のファイルが抽出されない不具合を修正
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> ・受信データ内に不正な（実態のない）データが存在する ・一括抽出処理を行う 	
内容 障害	不正なデータ以降に存在するデータの抽出が行われない。	
回避策	不正なデータのステータスを「フリー」に変更した上で、一括抽出処理を再実行する。	
	アップグレード 未実施時の	

No.12		メール伝送で、伝送相手から署名アルゴリズムに SHA2 を指定されると伝送エラーになる不具合を修正
発生条件	以下の条件のいずれかを満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> ・伝送相手に SHA2 での MDN 署名要求を行い、受信した MDN に SHA-256/SHA-384/SHA-512 のいずれかが指定されている ・伝送相手から SHA2 での MDN 署名要求を受信し、その要求で SHA-256/SHA-384/SHA-512 のいずれかが指定されている 	
内容 障害	伝送相手から指定された文字列が解釈できずに未サポートエラーとなる。	
回避策	署名アルゴリズムに SHA1 を使用する。	
	アップグレード 未実施時の	

No.13 同ドキュメントが二重抽出される場合がある不具合を修正	
発生条件	以下の条件をすべて満たす場合： <ul style="list-style-type: none"> ・複数の抽出処理が（ほぼ）同時に発生した場合 ・上記処理中に抽出ファイルの取り出しが非同期で行われた場合
内容 障害	同一ファイルが二重出力される。
未実施時の回避策	コマンド実行の場合、呼び出しを「同期」に変更する。

No.14 受信フォルダに存在する複数件のステータス「処理済み（正常）」以外のファイルが一括で抽出できない不具合を修正	
条件 発生	ファイルステータスが「処理済み正常」以外のものが複数存在するフォルダに対して、全件抽出のコマンドを発行する。
内容 障害	抽出対象ファイルが複数存在しても、1件だけ抽出されて処理が終了する。
未実施時の回避策	フォルダに存在するファイル数分、抽出処理を実行する。

No.15 全銀 HTTP と AS2 で利用可能なサーバ定義（HTTP）をエクスポートすると、「プロトコル種別」欄が空欄となる不具合を修正	
条件 発生	全銀 HTTP と AS2 で利用可能（Web は除く）なサーバ定義(HTTP)のエクスポートを実行する。
内容 障害	サーバ定義情報の「プロトコル種別」欄が空欄でエクスポートされる。
未実施時の回避策	全銀 HTTP と AS2 でサーバ定義(HTTP)を分けて作成する。 全銀 HTTP/AS2/Web の3つの組み合わせのサーバ定義(HTTP)を作成する。